

令和2年度



家庭学習の手引き

たちかわしりつおおやましょうがっこう
立川市立大山小学校

しょうがっこう ねんせい ほぞんばん
小学校1～2年生(保存版)

ねん
年

くみ
組

なまえ
名前(

)

☆ この手引きを利用するにあたって

この「家庭学習の手引き」は大山小学校に通う皆さんが、「将来、大人になった時にも活用できるような力を身に付けてもらいたい」という願いを込めて、作成されました。

皆さんは小学校から中学校までの6年間を通して、どのような力を身に付けていけばいいのでしょうか。

大切なことは、

- (1) 自分で課題（問題）を見付けることができるようにする。
- (2) 自分で課題（問題）を解決するための方法を考えることができる。
- (3) 自分で課題（問題）を解決し、さらにレベルの高い段階に取り組むことができる。

ではないかと考えます。

将来的に、学習は「誰かから教えてもらうものではなく、自分自身で進めていくもの」になります。大人に近づくにつれて、自分自身で学んでいく機会が多くなっていくのです。しかし、このような学習方法は、いきなり身に付けることはできません。毎日地道に取り組み、成長していくしかありません。

小学校1年生から中学校3年生の9年間の間に、

- (1) 「どうしてこうなっているのかな？」と、**いろいろなことに興味をもつ**とともに、「もしかしたら〇〇だからなのかな？」という**自分なりの考えをもつ習慣（クセ）を身に付けていくこと。**
- (2) 「不思議や疑問に思ったことをこうやったら解決できそうかな？」「まだよくわからないから〇〇で詳しく調べてみよう」といった、**解決のための自分なりの考えをもつようにすること。**
- (3) 「実際に考えた通りやってみたらできた。（実際に考えた通りにやってみただけど、できなかった）、だから、次は〇〇に取り組んでみよう」とする、**常に前向きに取り組もうとする向上心もち続けること。**

ということが身に付いていくように、まずはできそうなことから、コツコツ進めていきましょう。

はじめは学校で勉強したことの復習でもいいのです。誰かの真似でもいいのです。自分が取り組みそうなことをしっかりと続けていくことが、とても大切です。

この手引きには皆さんが取り組みそうな例がたくさんあります。これを見本にしながらか、だんだんと自分から進んでオリジナルの課題にも取り組んでいけるようになることを心から期待しています。

かていがくしゅう たっせいもくひょう
家庭学習の達成目標

きょう じゅぎょう かだい もんだい いちどれんしゅう
今日の授業でやった課題（問題）を、もう一度練習する。

しゅくだい ないよう いちど と く
宿題の内容をもう一度取り組む。

どりる もんだい じぶん えら と く
ドリルの問題を、自分で選んで取り組む。

きょう じゅぎょう たいせつ ぽいんと いち
今日の授業でやった「大切なところ」や「ポイント」をもう一
どのうと か
度ノートに書く。

まえ と く かだい たいせつ ぽいんと
前に取り組んだ課題についての、「大切なところ」や「ポイント」
のうと
をノートにまとめる。

きょうみ ことがら しら おも か
興味をもった事柄について、調べたことや思ったことを書く。

あす がくしゅう む よしゅう
明日の学習に向けて、予習する。

きょうみ ことがら ぎもん かん ことがら しら
興味をもった事柄や、疑問に感じた事柄について、調べたこと
ず ぐらふ かつよう がくしゅう ないよう
を図やグラフなども活用しながらまとめ、学習した内容につい
ての自分の考えを書く。

※ うえ しめ たっせいもくひょう れい さんこう じぶん
上に示されている達成目標の例を参考にしながら、自分に
あった目標を立てて取り組みましょう。

がくりょく つ ぽいんと 学力を付けるためのポイント

① 学力の基盤は生活習慣

学力というのは毎日こつこつと努力を積み重ねることでしか身に付きません。そのためにはまず**生活習慣を整える**ことが重要です。

生活のリズムが乱れていては学習を続けることができなくなり、学力が身に付きません。

1. 体調を整える。
2. 3度の食事をきちんと摂る。(特に朝食。朝食を摂らないと脳が活発に働かない。)
3. 遅刻をしない。(自分で起きる)
4. 忘れ物をしない。(持ち物は前日にそろえる)
5. 夜遅くに勉強しない。(早い時間にする)

② 学校での学習

授業での1時間は、家庭学習の2～3時間分にあたります。まずは**授業が勝負**です。(「絶対に分かるようになる」という気持ちをしっかもって)

1. 先生の話や友達の意見をしっかりと聞く。(「耳と目と心」で)
2. 自分で考え、重要な内容は授業中に理解する。
3. 進んで発表する。(発表したことはよく覚えられる)
4. ノートは授業中にまとめる。気になったことはメモを取る。
5. 分からないことは友達や先生に質問する。(「質問する力」も学力のひとつです。)

③ 家庭での学習

たとえ宿題がなくても、毎日の家庭学習が必要です。それは授業で理解したことを時間をかけて覚えたり、また何回も練習したりすることが必要な教科もあるからです。だからと長い時間をかけるより、**集中して取り組む**ことが必要です。毎日必ず家庭学習をしましょう。

1. 宿題は必ずする。
2. 決まった時間に、決まった場所で学習する。
毎日、1年生は10分、2年生は20分程度、家庭学習に取り組むことが目安です。
3. テレビを見ながら…、音楽を聴きながら…といったような「ながら」勉強はダメ!
4. 自分にあった学習の仕方を工夫しよう。声を出して読んだり、紙に何度も書いていたりして覚えよう。要点をノートにまとめたり、図や表や式を書いたりすることも理解を助けます。
5. 『自主学習ノート』を作って、毎日、自主勉強をする。

保護者のみなさまへ

エビングハウスの忘却曲線というものがあります。一度学習して覚えたことでも、1時間後には56%忘れ、1日たつと74%忘れてしまうというものです。学校で習ったときに分かったつもりでも、1日たつと4分の1しか覚えていないということです。その後はゆるやかに減衰していき、1週間後には77%忘れてしまいます。これは**物事を記憶した直後が1番忘れやすい**ということを示しており、そこで何らかの復習をすることで、この忘れていく率（忘却率）は随分低くなることも証明されています。つまり、同じ復習をするのなら、**学校で習ったその日のうちに復習をすることが有効である**ということを示しています。家庭学習が学力を定着させるためには不可欠であるということです。

ところが、過去の「全国学力・学習状況調査」では、「家で、学校の宿題をしていますか」という問いに『している』と回答した小学6年生が86.0%に対して中学3年生では63.8%まで減少。**中学校で学習を進めるうちに家庭学習から離れてしまう子どもが増えている**という実態が明らかになりました。その一方で、学習塾などには中学生の方が高く、**中学生になると勉強する子としない子がはっきり分かれる**傾向が見られます。

また当たり前のことですが、家庭学習時間と成績との相関関係を見ると、家庭学習の時間が多いほど正答率が高くなっています。特に興味深いのは、平日の学習時間が『2時間以上』と回答した人と『3時間以上』と回答した人では正答率がほとんど変わりません。かける時間も大事ですが、方法や集中力も大切だということです。一方で、『全くしない』と回答した人と『30分より少ない』と回答した人との正答率の差は10ポイント程度あり、少しでも毎日学習することが学力につながっていくことがわかります。

今年度から大山小学校では、家庭学習を次のような2本立てで進めて参ります。

- ①学習したことを確実に定着させるために教師が意図的・計画的に与える課題
（学力を保証するもの→いわゆる宿題）
- ②子ども自らが課題を設定し解決する力を育成するために児童が主体的に取り組む課題
（学習意欲を高めるもの→自主学習）

また、子どもたちに学力を付けるために、授業づくりを進めていくことに学校あげて取り組んでいます。今後も子どもたちの学力向上に向け、各家庭と連携していきたいと考えています。ご協力よろしく申し上げます。

【やくそく】

- ① とりくむじこくをじぶんできめましょう。
(5じから、がっこうからかえったら、あそびからかえったらなど)
- ② しずかなところでしゅうちゅうしてとりくみましょう。
(テレビをけしましょう。)
- ③ 10ぷんくらいつづけてがくしゅうしましょう。
- ④ ていねいなじでかきましょう。
- ⑤ ノートには、ひづけ、べんきょうのだい、はじめたじこく、おわったじこくをかきましょう。
- ⑥ がくしゅうがおわったら、おうちのひとにみてもらいましょう。
そして、まちがいをなおしましょう。

☆☆☆こんながくしゅうにとりくんでみましよう☆☆☆

○ことばあつめ

- ・「あ」「い」「う」…からはじまることば
- ・「どうぶつ」のなかま、「やさい」のなかま、「くるま」のなかまなど

○しりとりあそび

○ぶんづくり

○につき、さくぶん、かんそうぶん

○おはなしづくり

○けいさんれんしゅう

○さんすうのもんだいづくり

○テストやプリントのまちがいなおし

○ずかん、じてんをつかって、しらべる

○かんさつをして、しらべる



【ことばあつめ】

「あ」のつくことば

あり あし あくび あたま
あかり あせ あき

「い」のつくことば

いか いえ いびき いも いす
いちよう いわし いなずま

...

「どうぶつ」のなかま

ねこ くま いぬ うし きりん
ぱんだ らくだ とら うま
さる らいおん うさぎ さい
あざらし ろば ぞう しまうま
ぺんぎん かば

「やさい」のなかま

にんじん じゃがいも だいこん
にら とまと たまねぎ ぼう
かぼちゃ きゃべつ せろり なす
れたす いんげん あすぱら

【さんすうのもんだいづくり】

もんだい①

みかんが13こありました。みんなで6こたべました。なんこのこっているでしょうか。

13 - 6 = 7

答え 7こ

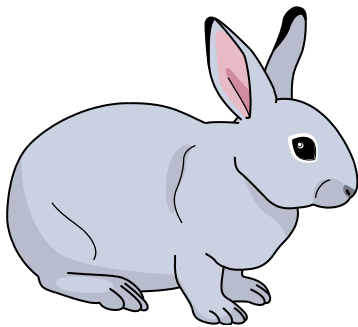
もんだい②

こうえんで子どもが8人あそんでいます。そこへ4人の子どもがきました。ぜんぶでなん人になったでしょうか。

8 + 4 = 12

答え 12人

【どうぶつのかんさつ】



うさぎのかんさつ

れいわ○ねん○月○日

うさぎのけは、とてもふわふわしています。けのいろは、まっしろです。みみがとてもながくて、よくうごきます。うしろのあしをけて、ぴよんぴよんとびます。

【やくそく】

- ① とりくむ時こくをきめ、自分からすすんでとりくみましょう。
(5時から、学校から帰ったら、あそびから帰ったらなど)
- ② しずかなところでしゅう中してとりくみましょう。
(テレビをけしましょう。)
- ③ 20分くらいつづけて学しゅうしましょう。
- ④ 文字や数字は、ていねいに書きましょう。
- ⑤ ノートには、日づけ、べんきょうのだい、はじめた時こく、おわった時こくを書きましょう。
- ⑥ ドリルをやったら、かならず丸つけとまちがいなおしをしましょう。

☆☆☆こんな学しゅうにとりくんでみましょう☆☆☆

- ドリル学しゅうやしらべ学しゅう
- ・けいさんや、かん字のれんしゅう
 - ・テストやプリントのまちがいなおし
 - ・ずかん、じてんをつかったしらべ学しゅう
 - ・しょくぶつやこん虫、どうぶつのかんさつ記ろく
- いろいろな文を書いてみよう
- ・さく文 ・日記 ・本のかんそう ・し ・はいく
 - ・見つけたこと など



【文づくり】

見つけたこと

こうていのおちばをめくると、足がたくさんはえたワラジムシやふとくて長いミミズがいました。

空を見上げると、くじらのようなかたちをした学校よりも大きなくもがありました。

がんばったこと

今日、ぼくのはんは、きゅうしよくとうばんのしごとを、みんなできよくりよくしてやったので、いつもより五分はやくじゅんびができました。

わたしは、そうじのじかんに、たなの中のものをどかして、ぞうきんがけをしたので、きれいになりました。

【本のかんそう】

だい名

「エルマーのぼうけん」

かんそう

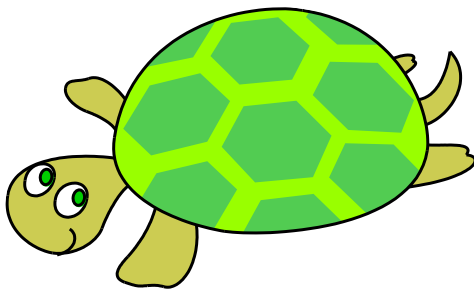
エルマーのぼうけんでは、とちゅうでいろいろなどうぶつが出てきます。そのどうぶつたちは、とてもつよそうで、よんでいると、とてもどきどきしました。でも、そんなどうぶつたちからにげるために、エルマーたちがつかうどうぐはおもしろくて、つぎはどんなどうぐをつかうのか、わくわくしました。どんどんつぎをよみたくなる本でした。



【どうぶつのかんさつ】

かめのかんさつ

れいわ○ねん○月○日



かめのこうらには、きいろとみどりいろのせんのもようがあります。目のうしろのところに、赤いせんがあります。およぐときは、4本の足をつかいます。えさをたべるときに、くびがとてもながくのびていたので、びっくりしました。